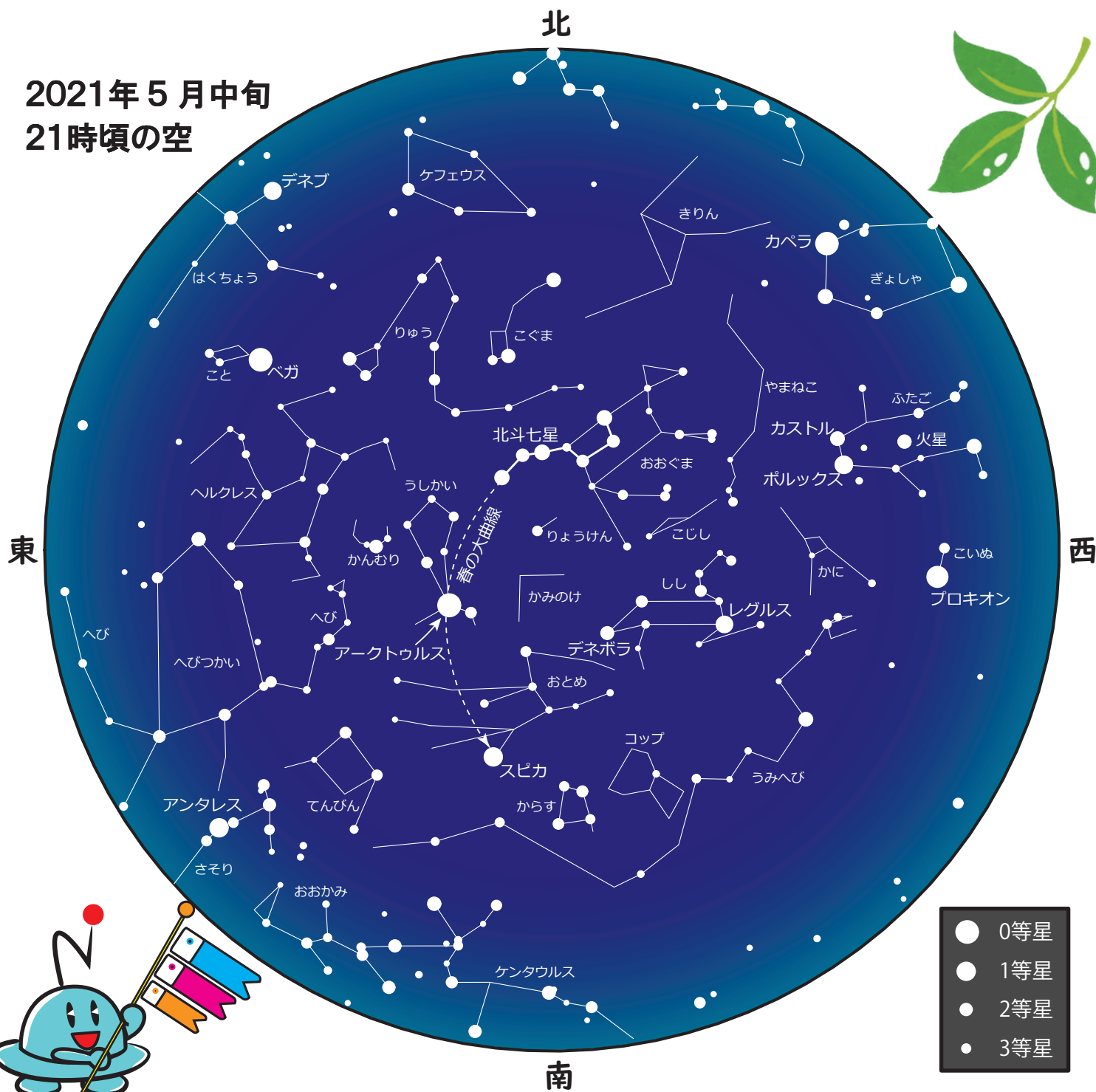


阿南市科学センター

5月の星空案内

2021年5月中旬
21時頃の空



新緑の季節、夜空を見上げると春の星座たちが見ごろをむかえています。春の星座の案内役となるのは**北斗七星**です。北の空で“ひしゃく”のような形にならんだ7つの星を探してみましょう。北斗七星は**おおぐま座**の一部分で、腰からしっぽにかけての星並びです。そのしっぽのカーブを南へと伸ばすと1つ明るい星にたどりつきます。こちらは**アークトゥルス**（約0.0等）で、**うしかい座**にあります。さらにカーブを伸ばすともう1つ明るい星があります。こちらは**スピカ**（約1.0等）で、**おとめ座**の星です。2つの明るい星が見つけれたら色に注目してみましょう。アークトゥルスは黄色っぽく、その姿から**麦星**とも呼ばれています。一方、スピカは白っぽく、**真珠星**とも呼ばれています。北斗七星からアークトゥルス、そしてスピカと星を結んでできるのが**春の大曲線**です。ぜひ春の大曲線を頼りに春の星座たちを探してみてください。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて【毎週土曜日開催 / 19時～, 20時～, 21時～】

阿南市科学センター 電話 0884-42-1600 <http://ananscience.jp/science/>

5月の月の満ち欠けと惑星について



下弦
4日



新月
12日



上弦
20日



満月
26日

5月の天体観望会で月が見える日時は？



5/15(土)・・・19時の回がおすすめ



5/22(土)・・・全ての回で観察可能

水星：中旬ごろの日没後、西の低空に見える。【約0.3等】

金星：月末ごろより、日没後の西のごく低空に見える。【約-3.9等】

火星：夕方、西のやや低空に見える。【約1.6等】

木星：未明より、南東の低空に見える。【約-2.3等】

土星：未明より、南東の低空に見える【約0.6等】

※各惑星の等級は中旬頃の明るさとなる。



写真1. 夕空に見える水星（阿南市内で撮影）

注目の天文現象

★5月26日 皆既月食

2021年5月26日の夜は皆既月食が起こります。徳島県で皆既月食が見られるのは2018年7月以来、約3年ぶりです。月食のはじまりが18時44分、阿南市での月の出が18時55分ですので、欠けた月が昇ってきます。20時9分には皆既食がはじまり、20時18分に最大となります。皆既中は月の色に注目してみましょう。完全に月が見えなくなるわけではなく、赤銅色という赤黒い色の月を見ることができます。20時28分には皆既食が終わり、21時52分には月食が終わります。

いずれも南東の低空で見られます。観察をする時は、南東の空が開けたところを選びましょう。

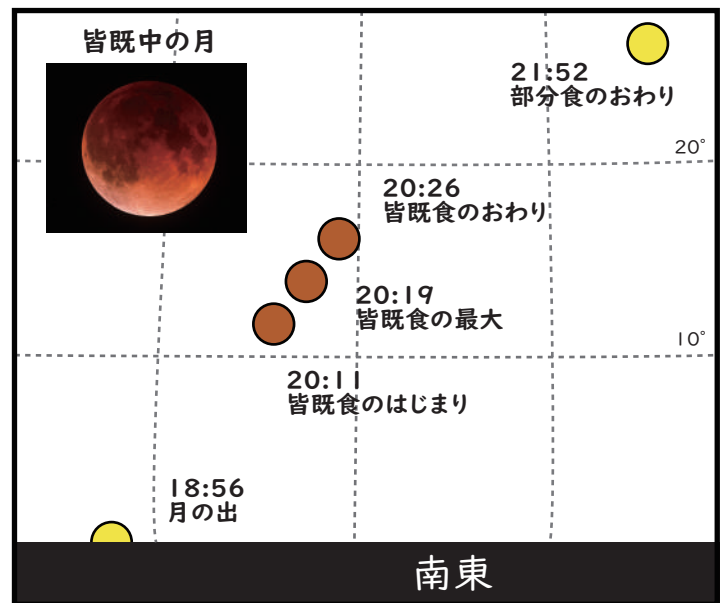


図1. 2021年5月26日の皆既月食の行程

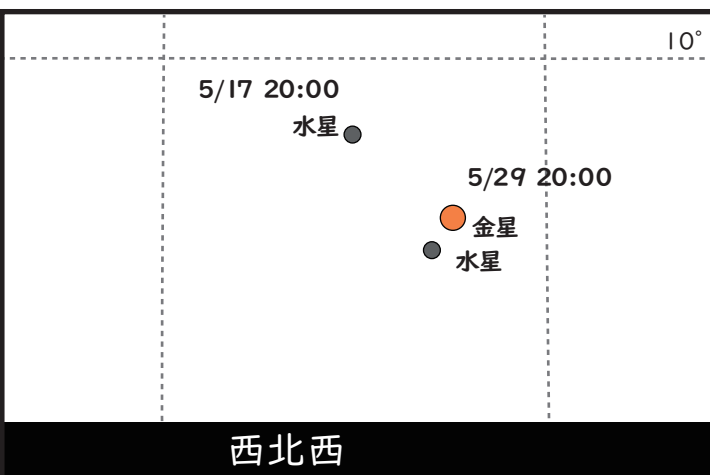


図2. 2021年5月17日と29日、20時の水星の位置

★5月17日 日没後の水星が見ごろ

5月17日に水星が東方最大離隔となり、見ごろをおかえます。日没後、西北西の低空を探してみましょう。

水星は地球よりも太陽に近いところを公転しているため、太陽との見かけがあまり離れません。そのため、水星を見るには時期を選ぶ必要があります。最大離角のころは太陽との見かけが最も離れますので、比較的に見やすくなります。観察をするには、最大離角をおかえる17日の前後1週間ほどの期間がおすすめです。また29日には西北西のごく低空で、水星と金星が並んで輝く様子が見られます。